

AWS Academy

高等教育機関向けにAWSが開発したクラウドコンピューティング学習用カリキュラム
すぐに授業に組み入れる構成で、将来のクラウドエンジニア育成をサポート

AWS Academyは、産学連携の橋渡しとなるプログラムです

クラウド技術の発達により、ビジネスは世界的に急速な変革を続けています。それに伴い、クラウドスキルを持つ人材への需要が高まっています。AWS Academyは、学生が将来クラウド人材として社会で活躍するのをサポートするためのカリキュラムとラボ演習環境を全て無償で提供しています。



最新情報を反映した
カリキュラム



AWS認定資格と連携した
スキルの構築



講師認定の取得

AWS Academyで提供されている日本語のコース

■ AWS Academy Cloud Foundation - 基礎コース

コースの長さ：20時間

クラウドコンピューティングの概念、主要なクラウドサービス、セキュリティ、アーキテクチャ、料金、サポートの概要を学習します。動画によるレクチャーモジュール、オンラインの知識確認テスト、ラボの説明動画、ハンズオンラボ演習環境が全てパッケージ化され、すぐにでも授業に取り入れられる、クラウドの基礎を学ぶコースです。

■ AWS Cloud Architecting - 応用コース

コースの長さ：40時間

クラウドコンピューティングの技術的な専門知識の向上と、AWS認定ソリューションアーキテクト – アソシエイトレベルの知識とスキルの習得を目的としています。動画によるレクチャーモジュール、プロジェクト形式の作業、オンラインの知識確認テスト、ハンズオンラボ演習環境がパッケージ化されています。

AWS Academy加盟からコース提供までのプロセス

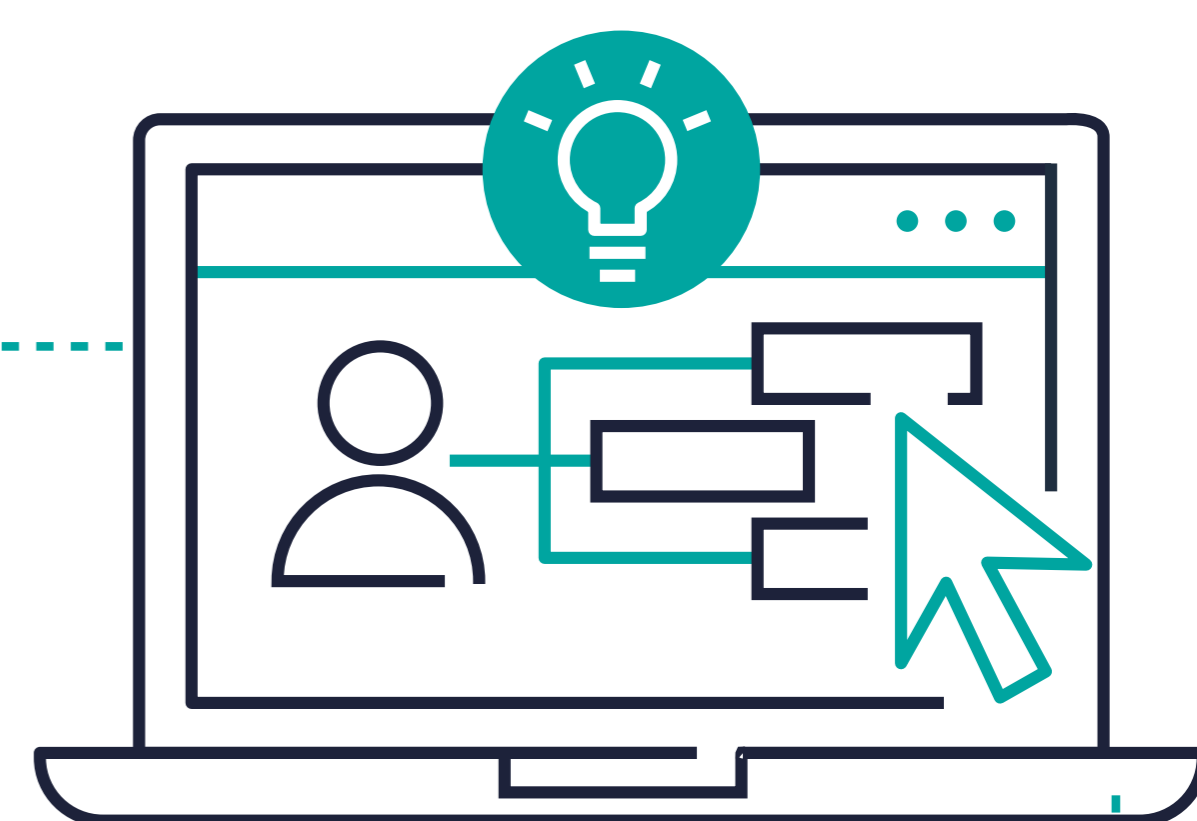
Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5
ウェブサイトから 加盟申し込み	コースを学生に提供する 講師をEducatorとして ノミネート	ノミネートされた Educatorが講師向け ワークショップ（無償） に参加	Educator該当するAWS 認定を取得し、AWSトレー ナーとの認定プロセス*を 経て講師認定を取得	講師認定を取得した Educatorが学生への コース提供を開始

*講師認定プロセスには、コース提供にあたっての最終調整・確認のための打ち合わせ、講義のデモンストレーションが含まれます。



教育機関向けの クラウドコンピューティング 学習カリキュラム

実践的なラボ演習と
最新のベストプラクティスを反映



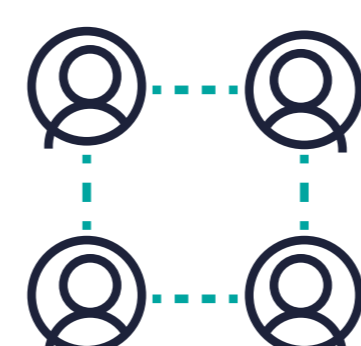
レクチャー
モジュール



ハンズオン
ラボ演習



知識確認
テストモジュール



グループワーク



個人
プロジェクト



プロジェクト
演習

世界35カ国以上、1,400校以上の高等教育機関がAWS Academyを採用*

★2020年2月現在



<https://aws.amazon.com/jp/training/awsacademy/>

